

つかう会議の前に…

事務局から皆さんにお願いしたい事

 感染予防策

		
手洗い	アルコール 消毒	せき エチケット

会議後に、

熱が出た方、または体調が悪いと感じた方は、  
事務局（市役所）までご連絡ください。

An architectural rendering of a station plaza. The scene is shown from an elevated perspective. In the upper left, a multi-story building with a balcony is visible, where many bicycles are parked. A wide, paved plaza extends from the building, populated with numerous small human figures walking, some pushing a stroller, and others riding bicycles. In the center and right, there are more people walking and a few people sitting on mats on the ground, possibly for a community event. The plaza is lined with several trees. In the foreground, there are three wooden benches. At the bottom center, a dark-colored car is parked on a road. The entire image has a light green tint.

# 2020年 第1回 みつけ駅周辺 つかう会議

2020年4月9日（木）

# 0. 本日の進め方

1. 令和2年度つかう会議の体制と全体スケジュール
2. 本日のディスカッションについて
3. 遊び場プロジェクト（普段使い）について
4. 今年のみつけるプロジェクトについて
5. 公有地のポケットパーク化について
6. つかう会議の仲間を増やす&デザインについて
7. 主なディスカッションの内容（例示）
8. チームごとの意見交換

# 1. 令和2年度つかう会議の体制と全体スケジュール

## (1) 新メンバーからの自己紹介

新メンバーの方から、一人1分程度で自己紹介をお願いします。



- **おもしろそう！ やってみたい！** という取り組みがあれば積極的に提案をお願いします。
- 一人ひとりの街を思う気持ちが、見附の街づくりに繋がっています。
- **つかう会議の基本は、"まずは自分が楽しむ"です。**

# 昨年のつかう会議メンバーへのアンケートの結果概要 (R1年のつかう会議の活動記録)

## つかう会議の開催実績

開催回数	日時		参加人数
1	3月22日	(金)	26
2	5月31日	(金)	25
3	6月21日	(金)	24
4	8月9日	(金)	28
5	9月25日	(水)	20
6	12月7日	(土)	22
<b>開催合計</b>	<b>6回</b>	<b>延べ人数</b>	<b>145</b>

※事務局を除く人数

## イベント開催実績

開催回数	日時	来場者	参加人数
<b>遊び場プロジェクトの開催実績</b>			
vol.1	7月27日～8月22日	1,452	6
<b>みつけるプロジェクトの開催実績</b>			
vol.3	9月14日～9月16日	1,589	28
vol.4	10月12日～10月14日	1,840	28
<b>開催合計</b>	<b>3回</b>	<b>延べ人数</b>	<b>4,881</b>

↑  
つかう会議メンバーの参加延べ人数

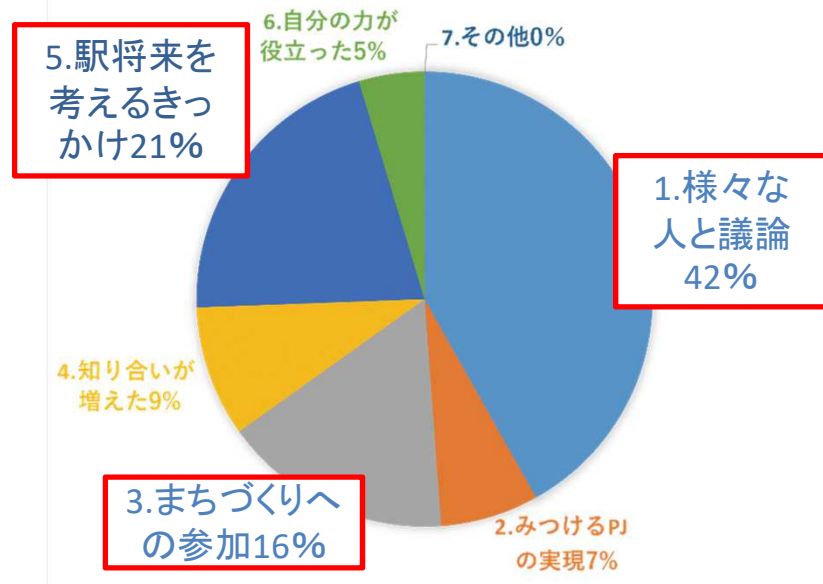
- ・多くのつかう会議メンバーの皆さんよりご参加いただきました。
- ・引き続き、新たなメンバーの皆さんも含め、ご協力をお願いします。

## (2) 昨年のつかう会議メンバーのアンケート結果

### 【つかう会議メンバーの感想】

・メンバー全員が「参加して楽しかった！」と回答◎

つかう会議の良かった点

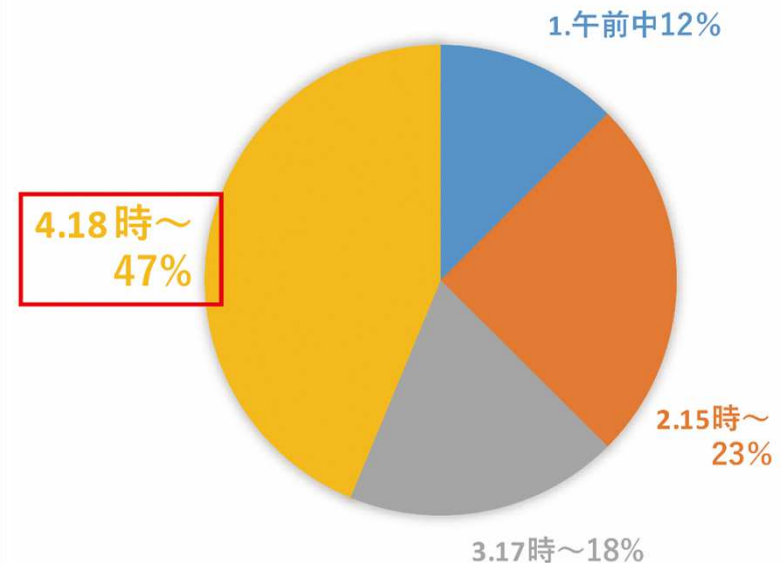


1 つかう会議は様々な話や情報を受信・発信する良い機会となっているようです。

3 まちづくりへの参加が良かった点との回答も多く、大変うれしく思います。今後とも連携して見附を盛り上げていきましょう！

5 ゆくゆくはつかう会議を通じて見附駅の将来を市民全員で考えていきたいですね。

つかう会議希望時間帯



4 18時からつかう会議開始を希望する意見が多数あったため、今回のつかう会議より開始時間を30分遅く開催することになりました。

### (3) 「つかう会議駅員」の新設

#### ●コアメンバー(つかう会議駅員)設置の目的

- これまでの事務局側の負担軽減を目的に新設するわけではありません。
- つかう会議やみつけるプロジェクトの持続性を見据え、  
⇒これまでの市役所のための体制(事務局)では継続的な活動が困難
- より参加者の意向を反映できるコアメンバーを核とした体制へとシフト

これまで以上につかう会議の活動が面白く、  
そして話題性に富んだ組織へと発展

#### これまでのつかう会議

- 市やコンサルタントが事務局
- 方向性や会議の内容を検討し、全面的にサポート



#### これからのつかう会議

- 事務局に、数名のつかう会議駅員(メンバー発案のネーミング)を加えた体制へ
- より主体的につかう会議の運営に携わり、参加メンバーの意向が反映されやすい環境へ
- 今後の持続性を見据え、継続的な組織へ

### (3) 「つかう会議駅員」の新設

#### つかう会議駅員に期待すること(例)

- 事前に各会議のつかう会議の方向性を議論・調整し、会議内容を共有
- つかう会議やみつけるプロジェクトの情報発信を強化
- チームのディスカッションを取りまとめ、役割分担の交通整理
- つかう会議の持続性について議論し、社会実験を通じて検証及び評価

【持続性の検証から駅整備への反映イメージ】

R2~R3

- ・みつけるPJに合わせてつかう会議の持続性を検証し評価
- ・駐輪場2Fカフェの運用方法を検討

反映

R3

駐輪場2F再築

R4

駐輪場2F交流カフェ運営スタート

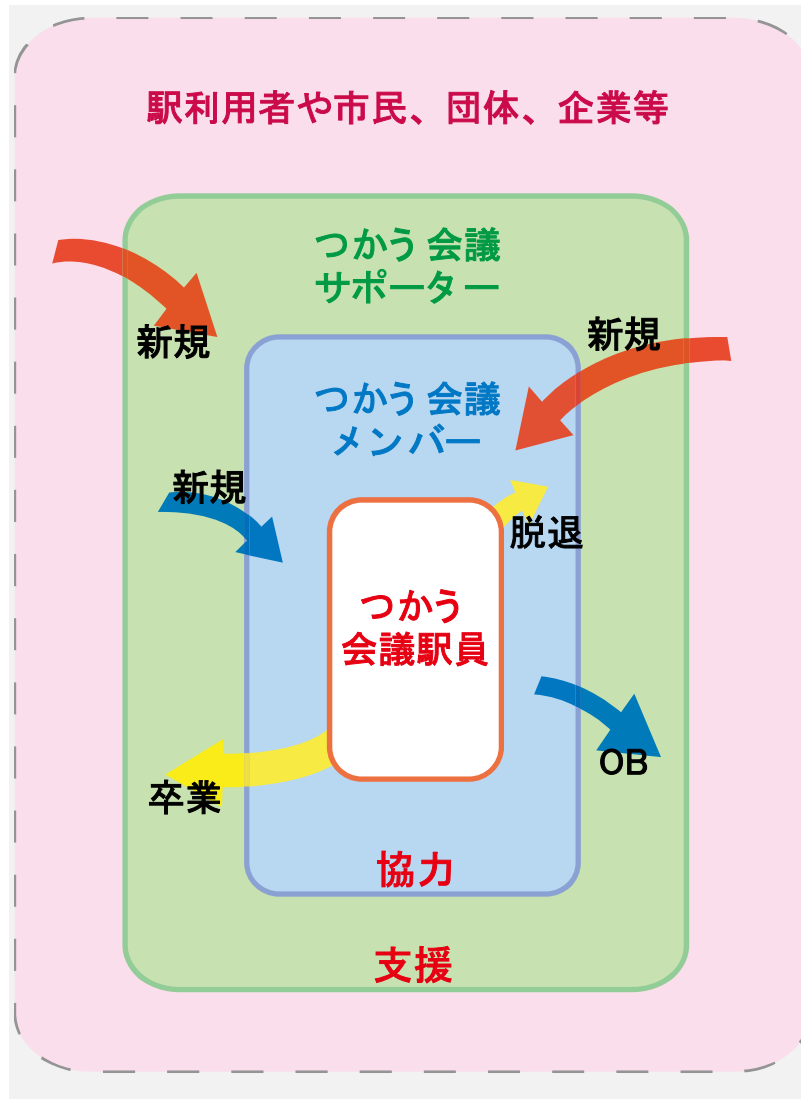
ご報告

つかう会議駅員には、活動経費(12万円程度)を準備しています。  
活動経費は、みつけるプロジェクトの準備費用や運営費、駅員報酬等として使う予定です。



## (4) 今後の「つかう会議」の運営体制

### つかう会議運営イメージ



#### つかう会議職員

市とともにつかう会議の運営へ主体的に参加

#### つかう会議メンバー

つかう会議への参加  
みつけるプロジェクトへの協力  
(基本的に、これまでどおり)

#### つかう会議サポーター

直接的に協力することは難しいけど、みつけるプロジェクトや再整備を応援したい人達。  
今後サポーター制度を作り、仲間意識が持てる仕組みづくりを検討

※職員や会議メンバーについて、新規参加、中断、卒業は本人意思により年区切りで自由にできる体制を検討

## (5) 今年度の想定スケジュール

### ●主な変更点

・みつけるプロジェクト1回目を7月へ前倒し

→準備期間の短さや、天候が安定しないことから開催時期を再検討

・普段使いを重視した取り組みへ

→「遊び場プロジェクト」を2回実施予定

※つかう会議の開催時期は、各チームの議論の進行状況を踏まえ、柔軟に変更する可能性あり。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、みつけるプロジェクトの開催時期が延期となる場合があります。

年度	区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R2年度	会議		●	●	●		●	●			●
	イベント				●	●		●	●		●
参考) H31年度	会議	●		●	●		●	●			●
	イベント					●		●	●		●

● つかう会議    
 ● みつけるプロジェクト    
 ● 遊び場プロジェクト    
 ● 懇親会

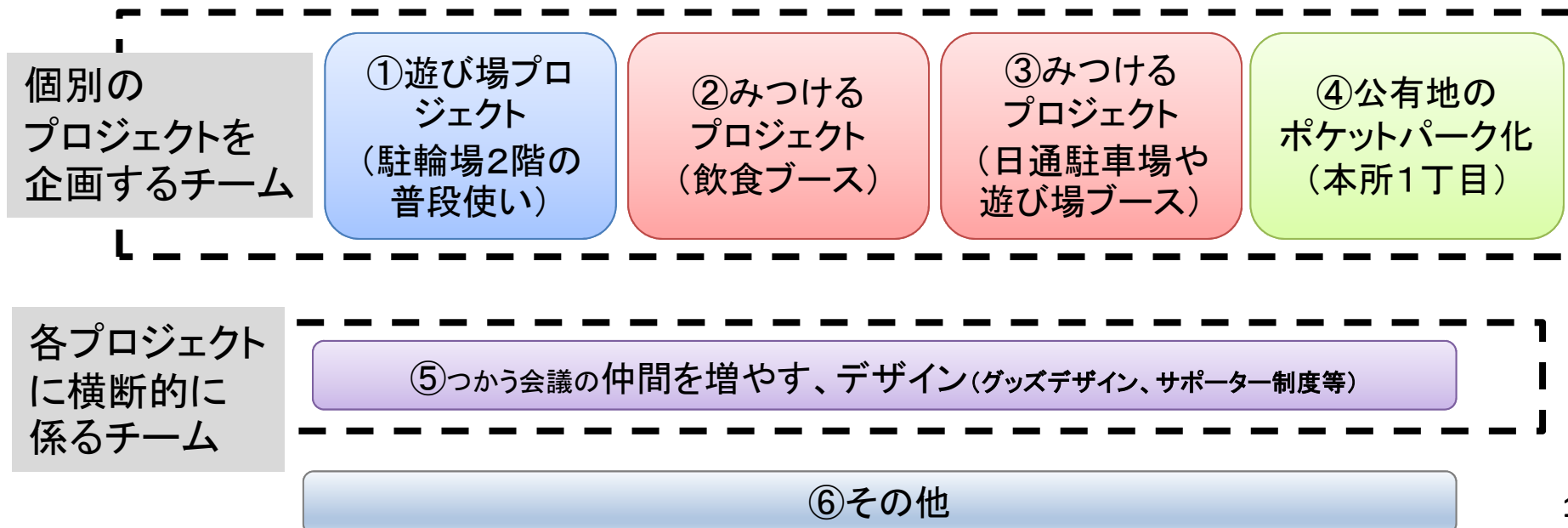
## 2. 本日のディスカッションについて

本日のディスカッションテーマ

# 「さて、今年はどんな楽しいことをしよう？」

・本日のつかう会議では、  
(2回の)みつけるプロジェクトや(普段使いを重視する)遊び場プロジェクト、(公有地の)ポケットパーク化などに関して、「今年はどんなことに挑戦したいか」という大きな方向性について議論してもらいます。

・説明後、以下のチームのうち、自分が最も興味のあるチームに移動してもらいます。



# 3. 遊び場プロジェクト（普段使い）

①遊び場プロジェクト  
（駐輪場2階の普段使い）

## （1）遊び場プロジェクト（普段使い）とは

- ・駐輪場は2021年（R3年）には改修工事⇒2022年（R4年）には「カフェ&交流スペース」へ
- ・2021年（R3）頃の駐輪場2Fが閉鎖されるまでの間、どんな人が利用し、どんな使い方ができるか、様々なことを試してみたいと考えています。
- ・昨年からの「**遊び場プロジェクト**」として、普段使いを想定し、駐輪場2階を一定期間お試し利用する試みです。

### 【駐輪場2階の改修イメージ】

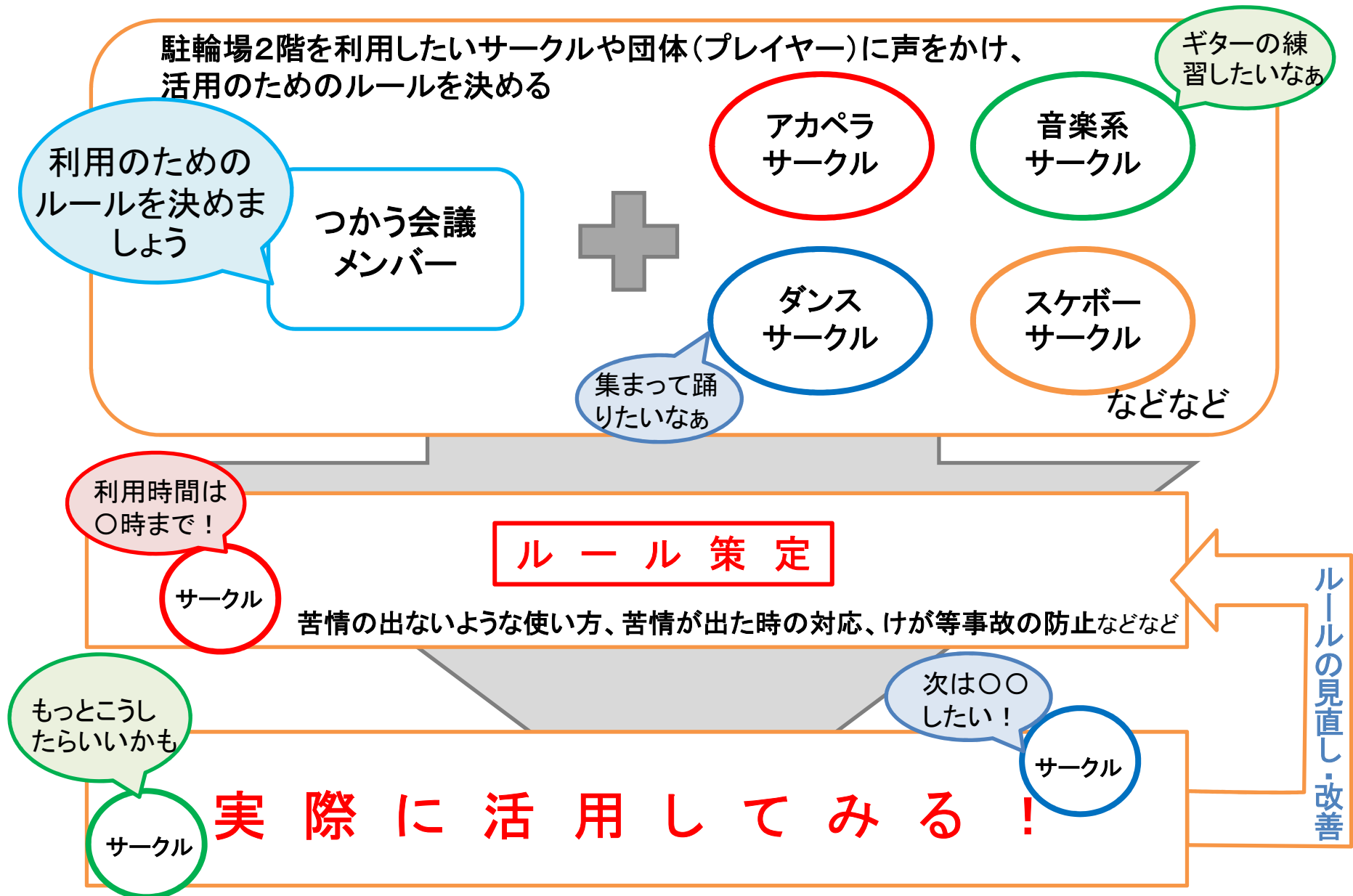


飲食スペース（待合スペース）  
ガラスの建具（折戸）を入れて、外気を遮断。天候が良い日には、開放できる構造とします。



プレイスペース  
プレイスペースも折戸で囲われた空間とします。  
イベント時に使用できる給排水/電気設備を壁に備えておきます。

## (2) 遊び場プロジェクトの進め方 (一例)



## 4. 今年のみつけるプロジェクト

- ・今年のみつけるプロジェクトは、7月と9月で実施予定
- ・みなさんの「やりたい！面白そう！」という思いを実現するプロジェクトにしてください。

### ②みつけるプロジェクト (飲食ブース)

- ・7月イベントをメインに検討
- ⇒飲食イベントを模索してみては

### ③みつけるプロジェクト (日通駐車場や遊び場ブース)

- ・9月イベントをメインに検討
- ⇒これまでのイベントに負けない盛り上がる仕掛けを



昨年9月14日～16日  
みつけるPJ vol.3  
盆踊り保存会や地域コミュニティとコラボ。  
駐輪場で行った「見附にちなんだトークショー」は7時間に及んだ長時間企画！息つくヒマもないトークの連続で大盛況。

昨年10月5日～6日  
みつけるPJ vol.4  
音楽&ダンスイベントを実施。  
駐輪場のお店のおしゃれ度もUP！



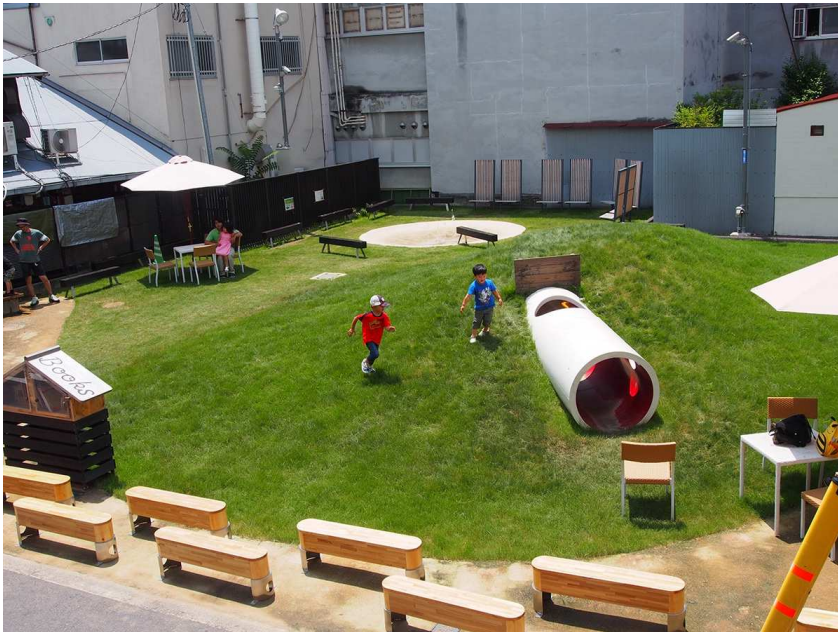
# 5. 公有地のポケットパーク化

## ④ 公有地の ポケットパーク化

- ・ 駅周辺にもにぎわいをつくりたい(波及効果)!
- ・ 駅を拠点とした周辺の歩行ルートの魅力を高めていく、そんな取り組みです。
- ・ 駅周辺には、現状でうまく活用されていない公有地が存在

例えば市民が自由につくり、使えるポケットパークとして利用すれば、歩行者の休憩場所として活用でき、周辺住民の憩いの場に繋げたい。

⇒ つかう会議の新たな取組のひとつとして、「市民の手によるポケットパークのリノベーション(再整備)」に取り組みたいと思います。



資料: 全国まちなか広場研究会HP

参考例①(松山市 みんなのひろば)  
まちなかにあった駐車場を地域の広場にリノベーションした例。産・官・学連携組織アーバンデザインセンター松山(UDCM)が中心となって運営。(現在は拠点が移転したため閉鎖)



資料: ソトノバHP

参考例②(千葉市 HELLO GARDEN)  
まちなかの空き地を使って地元の建築会社がカフェやワークショップをはじめた。いまではすっかり地域の広場として定着して毎日子どもが遊びに来ており、建築会社もスタッフがカフェの運営を続けている。

# 参考事例



参考例①(松山市 みんなのひろば)

資料:全国まちなか広場研究会HP

参考例②(千葉市 HELLO GARDEN)

資料:ソトノバHP 16



# ポケットパーク化を検討したい公有地のマップ

街なか散策路ルート検討図  
(見附駅⇄ネーブルみつけ)



資料: Googleマップ

## 6. つかう会議の仲間を増やす&デザイン

⑤仲間を増やす&デザイン  
(デザイン、サポーター制度等)

みつけるプロジェクトに興味はあるもののなかなか協力まではできない方  
応援したい気持ちがある方  
見附駅再整備事業になんらかの形で関わりたい方

・つかう会議の「仲間(サポーター)」という気持ちになってもらう(帰属意識)

⇒みつけるプロジェクトの資金獲得にもつなげていくため、将来の仕組みを構築し、実際に運用をしたいと思います。

・具体的には、関連グッズをみつけるプロジェクトの現地やインターネット上で販売する、またはサポーター会員証を発行する、などが考えられます。



資料:「もりとしのり」の制作ノート

渡邊先生がかかわる長岡市の「摂田屋」では  
サフラン酒のほか缶バッジなどを販売

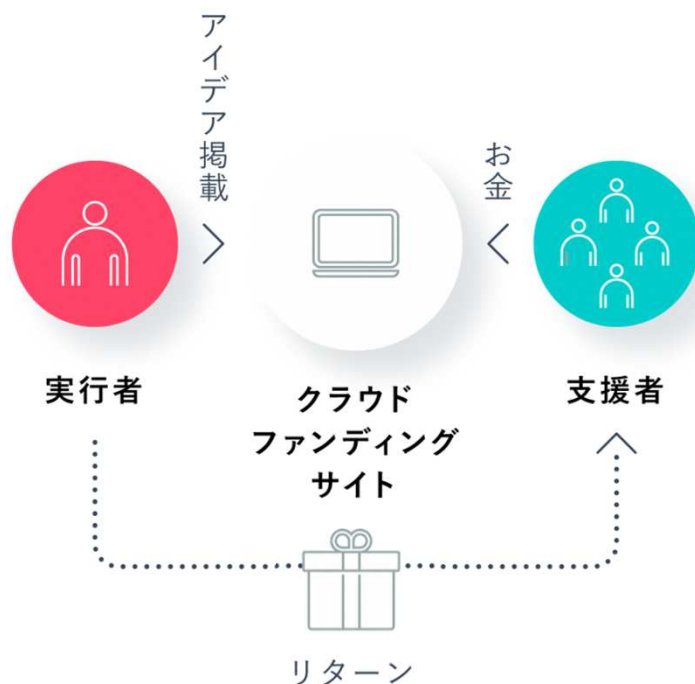


オリジナルTシャツの制作・販売なども、気軽に始められる  
取組のひとつかも...

見附っぽく、オリジナル見附ニットを会員限定アイテムと  
する方法も...

## 【参考】クラウドファンディング

- ・すぐには難しいかもしれませんが、今後一層関心が高まってくれば、クラウドファンディング（インターネットを通じた寄付や資金集め）という手も考えられるかもしれません。
- ・みつけるプロジェクトにかかる経費は、今は見附市が負担しています（毎年100万～120万程度）が、クラウドファンディングなどを行えば、行政への依存度が下がるため、もっと自由な活動ができるかもしれません。



クラウドファンディング (crowdfunding) とは群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語で、インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみです。



出典：FAAVO

みつけるプロジェクトと同じような公共空間活用社会実験でもクラウドファンディングは実際に活用されています。上の図は、広島市の社会実験「カミハチホテル」の資金調達を行うもの。約133万円を調達しています。（社会実験期間：令和2年3月1日～3月29日）

・イベント会場のデザインを考え、統一感のある装飾で会場を飾り付けます。  
※イベントの企画内容が固まり次第の議論となるため、今回のディスカッションでは議論なしとします。



デザインを工夫すると会場の雰囲気もがらっと変わり、おしゃれ感アップ！

見附らしさや、テーマ内容、企画に沿ってデザイン案を考え、会場を飾り付けていく！



今年はどんなデザインにしようか考えませんか。

## 7. 主なディスカッションの内容（例示）

### ①遊び場プロジェクト （駐輪場2階の普段使い）

- ・どんなプレイヤーが駐輪場に興味を持ちそうか
- ・どんな遊びや活動をしてほしいか
- ・どうやってプレイヤーとの調整を進めていくか など

### ②みつけるプロジェクト （駐輪場2階、飲食）

- ・今年はどうな企画をやろうか
- ・今年のこだわりや特徴はどんなものにしようか
- ・駐輪場に呼びたいお店、興味を持っているお店はあるか など  
（7月のプロジェクトを主に検討してください）

### ③みつけるプロジェクト （日通駐車場、遊び場ブース）

- ・今年はどうな企画（イベント）をやろうか
- ・駐車場を使いたい団体や事業者はいるだろうか など  
（9月のプロジェクトを主に検討してください）

### ④公有地の ポケットパーク化 （本所1丁目空き地活用）

- ・どんなポケットパークにしたいか
- ・自分がどう関わりたいか、地域の人にはどう関わってほしいか
- ・整備に向けたプロセスをどう進めるか（実験的に使ってみる） など

### ⑤つかう会議の仲間を増やす （情報発信、サポーター制度等）

- ・どんな仲間がいそうか、増やすためにどんなことができそうか
- ・資金調達のためにはどんなことが考えられるか
- ・どんな情報媒体を活用するか、グッズの作成
- ・イベント会場デザインをどうするかなど

### ⑥その他

- ・①～⑤に当てはまらない場合（①～⑤の枠にない明確なやりたいことがある、まだやりたいことがわからない など）

## 8. チームごとの意見交換（コロナ対策 など）

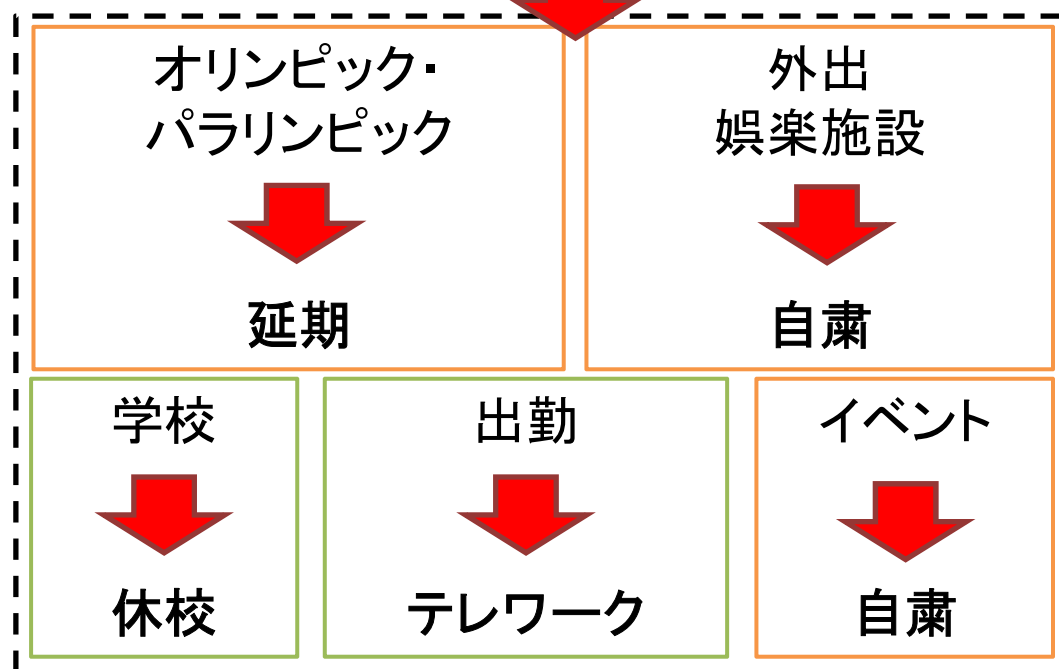
外出自粛やイベントの中止等、新型コロナウイルスへの閉塞感...

こんな状況の中で、つかう会議ができる事を考えてみましょう。

(少しでも明るく、元気を取り戻してもらいたい。頑張れ日本！)

新型コロナの対策

**密閉・密集・密接の3密を徹底的に避ける**



自粛ムードの影響

生活環境の主軸となっていたものが自粛によって急速に変化している

この状況だからこそ考えられることがあるのではないかと？

**つかう会議で何が  
できるかを考えよう！**

様々な対応・対策を意見し合い、自粛ムードに負けない企画を考え、運営していきましょう。

# チームごとの意見交換（コロナ対策 など）

## 【つかう会議にできること、対策の議論】

様々な対応・対策を意見し合い、自粛ムードに負けない企画を考え、運営していきましょう。

### ①遊び場プロジェクト

子どもたちは外出後の衛生観念に  
欠けている部分がある など

- ・楽しく予防する方法はない？
- ・イベントの中で何かできることはないか？
- ・イベントを通じて衛生観念を養う動き

### ②みつけるプロジェクト

接触、感染を防止したいけど  
来場者に楽しんでほしい など

- ・どんな取り組みをするべきか？
- ・行きたいけど行けない人への対応  
(コロナ対策に限らず)

### ④公有地のポケットパーク化

免疫を高めるために  
運動は推奨したい など

- ・屋内に引きこもりがちな今こそ  
外出は必要
- ・運動の推進となる仕掛けって？

### ⑤つかう会議の仲間を増やす

外出をする人が減り屋外  
広告の見られる機会が減る など

- ・どんな情報媒体が考えられる？
- ・どんなデザインだとみんなにみて  
もらえる？

今回議論してもらった内容はコロナに限らずプロジェクトを継続していくうえで、いずれ問題となってくることです。この機会に考えてみましょう！！

# チームごとの意見交換（議論の進め方）

---

## 【議論の進め方】

1 自分が考えてみたいチームを決め、とりあえず移動してください。

2 チーム別に本日は以下のように議論を進めてください。

※ 最初につかう会議駅員が進行役をします。

①まず、改めて簡単に自己紹介をしてください（一人1分程度）。

②事務局進行のもと、以下の手順で議論を進めてください。

**ワーク1：やりたい企画のアイデア出し**（全員でアイデアを出し合う）

**ワーク2：アイデアに対するディスカッション**

（アイデアの実用性や実施時期、他チームとの連携の可能性等の議論、  
今の自粛ムードだからこそつかう会議ができること、想定すべきこと）

**ワーク3：今後決めていくべきことの整理**

**ワーク4：チームリーダーの選出**



## 【本日の解散までをお願いしたいこと】

- ・ 本日はこれにて終了です。
- ・ 次回は5月中旬頃を予定しています。
- ・ このあと解散までに、以下のことをお願いします。

- チームごとに、次回つかう会議までに検討してくることや準備しておくこと、今後の段取りなどを確認してから解散としてください。
- 特に7月のみつけるプロジェクトまではあまり時間がありません。これに関することは次回つかう会議を待たず、随時チーム内にて議論をお願いします。

つかう会議駅員は、今後の進め方を確認させていただきますので、会議終了後、短時間で終わりますので打合せをお願いします。

**本日もつかう会議へのご参加ありがとうございました。**

**今年も各種プロジェクトも楽しみましょう！**

改めて…

# 事務局から皆さんにお願いしたい事

 **感染予防策**

		
手洗い	アルコール 消毒	せき エチケット

会議後に、  
**熱が出た方、または体調が悪いと感じた方は、**  
事務局（市役所）までご連絡ください。